

2590 ニュースレター

The future of Rotary is in your hands

2009-10 年度

2009 年 11 月 15 日発行

RI 会長

ジョン・ケニー

第 2590 地区ガバナー

野坂 定



第 3 号(通算 9 号)

編集発行

第 2590 地区

R 情報・広報・IT 委員会

e-mail newsletter@rid2590-it.org

クラブ便り

(各ロータリークラブからの投稿)

川崎日吉 RC

会員夫人が台北東海 RC で卓話

「春の水は東に流れる・・・日中友好を願って」

川崎日吉 RC 会長夫人の山田愛子さんは、昨年ご自身の体験を書かれた本「春の水は東に流れる」を出版されました。この本は、中国のご親族との交流体験を通じて、日中友好そして世界の友好・平和の実現に向けた熱いメッセージが込められています。この本の紹介が「ロータリーの友」の友愛の広場に掲載されたのをきっかけに、全国各地から卓話の依頼が殺到し、川崎市内はもとより遠く熊本や鹿児島等多くのクラブで卓話をされました。さらに台湾の米山奨学生のクラブで、日本語で例会を行っている台北東海 RC からも卓話の依頼がありました。そこで、山田会長ご夫妻を始め数名の会員が 8 月中旬に台北を訪問し、8 月 13 日に卓話を行いました。米山奨学生のクラブなので、メンバーは大歓迎を受け、卓話も好評でした。

広報委員長 志村 雄治

地区 R 情報・広報・IT 委員会からのお知らせ

RI 広報補助金プロジェクト承認

RI 広報補助金に申請していた地区のプロジェクトが 11 月 4 日に承認されました。承認項目はタクシーのサイドウィンドーステッカー広告で、承認金額は 6370 ドルになりました。申請額の全額が承認されたわけですが、このところの円高で実際の金額は目減りしてしまいました。その点が残念です。

3 月 1 日から 31 日まで川崎 200 台、横浜 600 台、計 800 台のタクシーにステッカーが貼られる予定です。

今年度の RI 広報補助金は前年度 3 月に募集が始まり、7 月 15 日までに全ての書類を提出して審査を受け、10 月に決まるというスケジュールで、実施されました。当初はクラブが企画したプロジェクトの申請を考えて各クラブにご案内し、4 クラブよりエントリーしていただきました。しかしながらいずれも広報地域が限られているなどの理由で、結局は地区としてプロジェクトを検討し今回の申請に至り、ようやく承認されました。

2009-10 年度 RI 広報補助金申請要領

- ・申請資格があるのは地区のみで、補助金の申請は、1 地区につき 1 件のです。
- ・補助金は 1 地区につき最高 10,000 米ドルまで授与され、資金が尽きるまで続けられます。
- ・地区は、広報補助金の全申請額の少なくとも 3 分の 1 を寄付しなければなりません。
- ・申請書は競争制に基づいて審査され、世界各地でロータリーが公平に推進されるよう補助金が授与されます。
- ・地区は、以下のようなさまざまな形で広報補助金プロジェクトを企画することができます。
 - (イ) 地区レベルで企画され、全クラブが参加するプロジェクト
 - (ロ) 地区広報委員会により企画され、いくつかのクラブが参加するプロジェクト
 - (ハ) クラブが企画し、地区の申請用に地区ガバナーが選んだプロジェクト
- ・広報補助金申請書は、地区ガバナーが承認し署名したものでなければなりません。
- ・広報補助金申請書の RI 世界本部への提出締切日は、2009 年 7 月 15 日です。

入会3年未満のロータリアンのためのセミナー開催

2009年11月30日（月）にメモワールプラザソシア21で開催された。このセミナーは3年未満の会員全てが対象になるので、本来は200名以上が集まってほしいはずだが、“3年間の内に1回出ればいい”という勘違いや、月末のせいもあって80数名の参加となった。



野口一平担当副幹事の司会のもと、委員長の津田玄一郎が開会の辞をのべ、野坂定ガバナー、金杉誠担当パストガバナーが挨拶をして、講演に入った。

「ロータリー情報の重要性について」の演題で上澤摩壽雄副委員長が講演し、つづいて「ロータリー財団について」の演題で、山室宗作地区ロータリー財団委員長が講演を行なった。



（この模様は地区のホームページ

<http://homepage2.nifty.com/rid2590>の「ニュースレターバックナンバー」の「ニュース」の中に動画で公開されている。）



そのまま、グループディスカッションに入り、「ロータリーに入会して思うこと、感じたこと」とい

うテーマで、意見交換がなされた。



R財団、米山などの寄付の義務化、拡大増強のあまり会員の質の低下を招いている、1業種1人と思っていたが違って、などの意見があげられた。一方、異業種交流で面白い、勉強になるなどの肯定的意見が多くあげられていた。

議論はなかなか尽きないようであったが、引き続き1グループ2分毎のグループ発表を行った。



金杉誠担当パストガバナーが講評を述べた後、中澤靖武地区幹事が閉会の辞を述べて終了となった。



編集後記

すでに新年になってしまいました。昨年11月15日発行予定でしたが、遅れたこととお詫びします。このニュースレターを育てていくためにご協力お願いします。川崎日吉RCの原稿に関しては、前号に載るはずのものでしたが、ずれ込んでしまいました。お詫びすると同時に投稿に感謝いたします。

編集責任 羽田久美夫